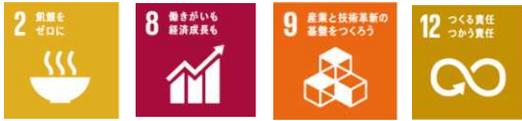


普及現地情報

発信年月日：令和7年(2025年)8月21日
所属名：大津・南部農産普及課
番号：A25006
発信者名：柴田、宇野、北川



生産者間のつながりの構築を目指した乾田直播栽培の現地検討会

7月24日に乾田直播栽培の現地検討会を実施したところ、生産者、関係機関など計32名の参加があり、野洲市と草津市の現地ほ場4か所を巡回しました。

今年度、大津・南部地域では8経営体が乾田直播にチャレンジされており、昨年度の2経営体から急増しています。6経営体は初めての取組であるため、栽培管理は手探りであり、周囲に取り組まれる生産者もいないため、不安の声がありました。

そこで、現地検討会を企画し、農研機構の研究職員を講師として招き、栽培管理のポイントを伝えていただくことに加え、生産者間で意見交換し、つながりを作っていただける機会となることを目指しました。

最初は遠慮も見られましたが、巡回を進めるうちに、生産者からチャレンジに至った経緯、取り組んだ感触、今後の展望など語っていただけるようになりました。生産者間での意見交換も活発となり、「自分以外の取組ほ場が見られて大変参考になった」、「今後も情報交換していきたい」などの声がありました。

目標とする移植栽培並の収量を実現するためには、生産者間のつながり、技術の相互研さんは欠かせません。当課は、引き続き、技術支援に加え、生産者間のつながりを構築できるよう活動を続けていきます。



検討会の風景